

県民意識調査の今後の方向性について

■ 令和8年度以降の方向性（検討中）

○ 手法・対象者

原則として、18歳以上のデジタル身分証アプリ登録者から無作為抽出した方を対象とし、アプリを利用した調査に移行。多くの対象者の方に御解答いただけるよう、ポイント付与も検討。

○ 調査内容

より県民の意識・考えやニーズを把握し、評価及び施策に反映できるようにするため、回答項目を厳選し、簡潔かつ回答しやすい問いかけ等に見直すとともに、自由記述欄を増やすなどの見直しを実施。

■ 上記の理由

1 デジタル身分証アプリ（アンケートミニアプリ）の有効活用

- 当該アプリの登録者数が110万人を超えたことを踏まえ、経済性、効率性の観点から、当該アプリを県民意識調査のツールとして活用し、アプリ登録者の中から無作為抽出した方を対象に実施。従来の調査では回答率が相対的に低い30代以下の世代の回答率アップを目指す。
- なお、アプリを利用していない方も県民意識調査に参画いただけるよう、別のツール（インターネット）により政策に対するご意見を頂戴する方法を検討。

2 従来の調査における課題

- 県民からは、従来の調査内容（※）に対し、次のような御意見が多く寄せられている。
 - * 自分に関わりの薄い政策については回答しにくい。
 - * 調査文が長い、わかりにくい。
 - * 選択肢から選ばせるだけでなく、自由記述欄を増やしてほしい。
- 評価に必要な範囲で回答項目を厳選したり、自由記述欄を増やしたりするなどの見直しを検討し、負担感の軽減を図り回答率アップに繋げるとともに、県においても自由記述欄などにおいてより県民の意識を把握し、施策に活用できるようにする。

※ 従来の調査内容

- ①「新・宮城の将来ビジョン」の8政策の重視度並びに満足度及び各政策において優先すべきテーマ
- ②暮らしの満足度（仕事・収入、出産・子育てなど11項目）
- ③防災意識
- ④宮城県の復旧・復興の進捗状況

なお、上記見直しを行う場合には、従前の意識調査との比較は困難になる可能性があることから、区別して取り扱う必要がある。